



施策（1-②）

地域における区民参画・協働の推進

目指す姿

- 国籍を問わず多様な世代が地域活動の担い手として参画し、地域コミュニティが活性化することで、地域における人々とのつながりや信頼関係が深まり、安全・安心、幸福度が高まっている。
- 公民の協働や地域団体の相互連携が進み、地域課題の解決に向けて共に協力し合っている。

現状・課題

地域コミュニティの結束力の低下

- 我が国は人口減少社会に突入し、本区でも、少子高齢化や孤立化、外国人との共生、新規マンション住民と地域住民との交流の希薄化等、新たな地域課題が生じています。さらには、自然災害リスクの高まりに伴い、その対策も喫緊の課題となっています。
- これらの課題に対して、地域に根ざした、効果的な解決を図るには、行政だけでなく、町会・自治会をはじめとする地域コミュニティとの協働が不可欠です。しかし、区民の価値観の多様化や、町会活動の担い手不足といった長年の課題が顕在化し、区民相互の結束力が低下しています。
- 今こそ、地域課題の解決のため、これまでつながりの薄かった若年層や現役世代、外国人等が地域コミュニティに参画する機会を促進し、町会・自治会やNPO等の地域団体との協働をさらに推進する必要があります。

取組方針

地域コミュニティ（町会、区民ひろば、NPO等）の活性化

- 区が区民と共に、また区民自らが地域課題を解決するには、町会・自治会等の組織を強化し、地域コミュニティの活性化を図る必要があります。このため、若年層や現役世代の町会等への参画を促進し、デジタル化、SNS活用、イベント開催、情報発信の強化等を通じて、住みやすいまちの実現に向けて取り組みます。
- また、災害発生時に地域コミュニティの力が発揮できるよう、日頃から町会等のつながりを大切にし、顔の見える付き合い、お互いが声掛けしやすい環境づくりに取り組みます。
- 町会、区民ひろば、NPOをはじめとした、様々な地域コミュニティのネットワーク構築を推進し、さらに企業や大学等、地域貢献に意欲のある人々や団体とのマッチング・連携を支援します。これにより地域活動をさらに活性化させ、協働による地域課題の解決に積極的に取り組みます。

多様な主体による地域活動への参加促進

- 社会貢献に関心のある若者や女性、外国人等、多様な人々のつながりを促進し、組織や集団に属さない個人も含め、より多くの区民が自らの立場で地域活動に参加できる機会を提供します。
- 地域活動に関心がある区民や団体に対して、活動の始め方や効果的な進め方等、ニーズに合わせた講座やイベントを開催し、地域活動への参加を促進します。また、地域活動に対する事業費の補助を通じて、地域活動の発展と継続を支援します。



指標	現状値					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
成果指標 「様々な地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	23.3	24.0	25.5	27.0	28.5	30.0
成果指標 区とNPO等との協働事業の実施数【件】	229 (2023年度)	250	260	270	280	290